

市報 やまぐち

昭和62年

4月15日

No. 954

交通事故状況			
種別	区分	累計	
	4月	本年	昨年
発生件数	48	139	128
死亡者	1	5	3
重傷者	2	8	9
軽傷者	51	155	146

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 森重印刷(株)



宇宙通信(株)の
市内進出決まる
テレトピアにはずみ

通信衛星による国内通信事業の最先端にある宇宙通信株式会社(本社、東京、資本金五十億円)の市内への進出が決まり、三月三十日、県庁で進出協定調印式が行われました。

進出計画では、萩峠の約二万平方メートルの敷地に約四十億円をかけて「スーパーバード通信衛星追跡運用管制センター」を建設し、昭和六十三年十二月から本格的に業務を開始する予定です。

国際衛星通信のKDDに次ぐ同社の進出で、山口市が日本の宇宙通信の西の玄関口となり、地域の活性化とともに、テレトピアの進展にも大きなはずみとなること期待されます。

市議会議員選挙 山口市長選挙 一票に願いをこめて



退任に寄せて

市長堀 泰夫

昭和五十年七月、市長に就任以来、十一年九か月、三期目の任期満了まで三か月ばかりを残しておりましたが、予期せぬ病いのため、三月三十一日辞表を提出し、四月二十日退任いたします。

も厳しい財政下ではありましたが、「緑ゆたかな伸びゆく人間都市やまぐち」を目標に鋭意努力をいたしました。

都市機能の整備では、高速交通体系、高度情報都市構想、企業誘致、都市計画街路等の整備の拡充整備に努め、また、公共下水道の整備、教育・文化施設の整備、社会福祉の充実、ほ場

整備等産業の振興等にも努め、着実な成果を収めることができました。特に昭和五十四年は、市制施行五十周年という記念すべき年に当たり、記念式典の挙行、市歴史民俗資料館・市民運動広場建設等の記念事業を行うことができました。また、国際化時代に向け、スペイン国ナバラ州の県都・パ

ンブローナ市と姉妹都市縁組、中国山東省の省都・済南市と友好都市締結を行うことができたことも感銘深く、その光栄に浴したことを感謝しています。今後は、一市民として、二十一世紀に向けての長寿社会対策や山口テクノパーク、テレコムプラザ等の諸事業が着実に進展し、郷土山口が県都としてますます発展するよう念願してやみません。

終わりに臨み、在任中、私に寄せられたご厚情に対し、心からお礼を申し上げますとともに、市民の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、退任に寄せのあいさつといたします。

人事異動

市では、四月一日付(退職者は三月三十一日付)で人事異動を行いました。

今回の人事異動の主な理由と特徴は、自動車運送事業管理者(交通局長)の辞職に伴う人事異動、また職員のリテラシオ(採用に伴う定期人事異動、行政改革の一環として機構改革を行い総合開発局、総務部管理課および市民生活部公害交通課の一局二課を廃止し、企画部企画財政課を企画課と財政課の二課に分離したことなどに伴う人事異動です。係長級以上の異動は、次のとおりです。

特別職

▽自動車運送事業管理者(総合開発局長) 石川潔

部長級

▽市公営施設管理公社(総務部付)古屋良一▽建設部長(下水道部長) 岡藤晋作▽下水道部長(解)全国高校総体事務局次長(市教委体育課長(併)同事務局次長) 徳永貞次▽幹線道路対策事務局次長(中央公民館長) 山本一夫(解)全国高校総体事務局次長(市教委教育次長(併)同事務局次長) 村田拓男▽市教委総務課長(職員課長(併)名田島出張所長(農業委員会事務局次長) 伊藤典夫▽農業委員会事務局次長(総合開発局次長) 田中隆▽山口県中部環境施設組合(市教委総務課長) 松村昇

課長・主幹級

▽企画課長(企画財政課長) 山根幹夫▽財政課長(課税課長) 又野忠彦▽企画課主幹

(解)経営改善室(企画財政課主幹(兼)経営改善室) 平田悟▽企画課主幹(総合開発局主幹(兼)開発係長) 秋山辰實▽広報課主幹(兼)市民相談室長(保険年金課主幹) 杉山勇次▽企画部付(総合開発局付) 福田武司▽職員課長(経営改善室次長) 原昌克▽課税課長(耕地課長) 松水泰玄▽兼)職員課長補佐(同課主幹) 平野昌靖▽解)休日夜間急病診療所長(衛生課長(兼)同所長) 田中良伸▽衛生課主幹(兼)保健センター所長(兼)休日夜間急病診療所長(中央公民館主幹) 吉松弘彰▽耕地課長(土木課長) 中川勲▽解)大阪観光案内所長(商工観光課主幹(兼)同所長) 森重文昭▽土木課長(幹線道路対策事務局次長) 山本武彦▽建築課主幹(兼)建築指導室長(兼)建築主事(同課主査(兼)同室建築主事) 栗林稔▽保護課長(公害交通課長) 山形隆▽保険年金課主幹(衛生課主幹(兼)課長補佐) 茅野章美▽幹線道路対策事務局次長(市公営施設管理公社) 加藤定一▽経営改善室次長(保護課長) 吉村春生▽出納室長心



昭和58年6月の市長選で

四月二十六日に、市議会議員選挙と山口市長選挙が行われます。

この選挙は、これからの四年間、市政を託す代表を選ぶ、私たちに託すのも身近な選挙です。棄権をして後悔することよりも自分の一票を大切に、こぞ投票しましょう。

なお、堀市長は四月二十日に退任し、二十日から本廣正義助役が市長職務代理人となります。

投票できる人

- ◆年齢 昭和四十二年四月二十七日までに生まれた人
- ◆居住要件 今年の一月十八日までに転入届けを出し、住民基本台帳に登録され、引き続き、現在も市内に住んでいる人

投票には

入場券を忘れずに

投票所入場券は、ハガキ一枚に二人までの氏名を記載するようになっていますので、自分のものを切り離して、投票所に持参してください。

万一、入場券をなくされたときでも投票できますから、当日、投票所で申し出てください。

◆投票時間 午前七時から午後六時まで

(3)

県住宅供給公社の 建売分譲住宅を募集

- 所在地 大字吉敷字下京面3338番8
- 募集戸数 1戸
- 面積 <建物> 115.81㎡、<宅地> 224.11㎡
- 分譲予定価格 2,961万円
- 住宅金融公庫予定融資 ①通常融資額 860万円、年利率4.70%~5.30% ②特別割増額 400万円、年利5.30%
- 住宅供給公社補足融資 400万円
- 引渡し予定時期 5月下旬
- 募集期間および受付場所 4月20日(月)~24日(金) 毎日午前10時~午後5時、現地
- 問い合わせ 県住宅供給公社(後河原150-1 ☎22-2876)へ

技能開発センター 受講生を募集

- 簿記講習
 - 日時 5月11日~6月10日の月・水・金曜日午後1時30分~4時30分
 - 定員・受講料 20人・2,200円
- 木彫講習
 - 日時 5月6日~29日の月・水・金曜日午後6時~9時
 - 定員・受講料 10人・1,000円
 - ◎講習会場 山口技能開発センター
 - ◎申し込み いずれも4月15日以降に山口技能開発センター開発援助課(〒753大字矢原字花ノ木1284-1 ☎22-1948)へ

軟式テニス会員を募集

- 名称 山口婦人テニスクラブ
- 対象者 山口市および周辺に居住する婦人で経験、未経験を問いません
- 練習日 毎週火・木曜日午前9時~正午
- 練習場所 維新公園コート、冬期は県立体育館
- 会費 年6,000円、入会金6,000円
- 申し込み はがきに住所、氏名、生年月日、経歴を記入のうえ大塚仁さん(〒753-02大内御堀2235-12 ☎24-1960)へ

不在者投票

投票日当日、仕事や入院など法に定められたやむを得ない事情で投票所に行けない人は、投票日の前日までに投票できる制度があります。

◆不在者投票ができる期間
四月十九日から二十五日まで
市役所 午前八時三十分から午後五時まで
(土曜日の午後・日曜日受付け付けをしております)
出張所 勤務時間中のみ
(その出張所地域に住所がある人に限ります)
不在者投票をされる場合は、

4月

26日

自分の

投票所はよく確かめて

投票所は、お届けする投票所入場券をよくお確かめください。最近、市内転居をされた人の投票所は、次のようになります。

◆四月四日までに市内転居の届け出をされた人は、新住所

投票所入場券と印鑑をご持参ください。手続きは早目に済ませましょう。

この他、指定を受けた病院や老人ホームなどに入院・入所している人も不在者投票ができます。

市内や近隣で指定を受けた病院や施設は、次のとおりです。

国立湯田温泉病院 山口赤十字病院・済生会山口総合病院・山口病院・吉南病院・仁保病院・佐々木外科病院・若宮病院・柴田病院・県立中央病院・小郡第一総合病院・阿知須共立病院・阿知須同仁病院・福寿園・梅光苑・サンライフ吉台・山口秋穂園

投票の順序と投票用紙

投票の順序

- ① まず市長選挙の投票
- ② つぎに市議会議員選挙の投票

投票用紙
それぞれの選挙の投票用紙

開票
即日開票で、四月二十六日の午後八時から山口県体育館(中園町)で行います。

は、次のように色わけされています。

- 市長選挙 水色、黒刷
- 市議会議員選挙 白色、赤刷

宮野財産区議会議員選挙 立候補届け出の説明会

山口市選挙管理委員会では、五月に予定されている宮野財産区議会議員選挙に立候補される方のために、立候補届け出の手続きなどについて「事前説明会」を四月三十日(木)に開きます。

○時間 午前10時~正午
○場所 宮野公民館講堂
当日、届け出用紙もお渡しします。関係者は必ずご出席ください。

課長補佐・係長級

▽財政課長補佐(兼)財産係長(企画) 富田信行▽企画課調整係長(兼)富田信行▽企画課主査(総合開発局) 主査(兼)計画係長(兼)小泉貢▽企画課企画調整係長(兼)経営改善室(企画) 浅谷榮彦▽解 全国高校総体事務局総務企画係長(市教委) 岩本紀二▽解 全国高校総体事務局(市教委) 若竹充▽解 全国高校総体事務局(市教委) 寺内保博▽市教委社会教育課主査(名田島公民

得(市交通局) 野村裕▽市教委学校教育課長(県教委) 長尾恵▽市教委体育課長(管理課長) 西村幸夫▽兼 文化財センター所長(解) 文化財係長(市教委) 教育課主幹(兼)同係長(市教委) 西村幸夫▽仁保公民館長(併) 仁保出張所長(同館) 長心得(併) 同所長心得 山本忠▽監査委員事務局次長(兼)庶務係長(建築課主幹) 建築指導室長(兼) 藤津英一▽農業委員会事務局次長(兼) 監査委員事務局次長(兼) 庶務係長(水野武彦)

▽併) 小鯖幼稚園長(小鯖小学校) 原祥文▽併) 吉敷幼稚園長(良城小学校) 長富一民▽併) 鑄銭司幼稚園長(鑄銭司小学校) 甲嶋重介▽併) 名田島幼稚園長(名田島小学校) 坊河内武士▽併) 二島幼稚園長(二島小学校) 吉松壽男

▽財政課長補佐(兼)財産係長(企画) 富田信行▽企画課調整係長(兼)富田信行▽企画課主査(総合開発局) 主査(兼)計画係長(兼)小泉貢▽企画課企画調整係長(兼)経営改善室(企画) 浅谷榮彦▽解 全国高校総体事務局総務企画係長(市教委) 岩本紀二▽解 全国高校総体事務局(市教委) 若竹充▽解 全国高校総体事務局(市教委) 寺内保博▽市教委社会教育課主査(名田島公民

武彦▽庶務課主査(兼)車両係長(管理課長補佐) 管理係長(管理課長) 西村幸夫▽兼 文化財センター所長(解) 文化財係長(市教委) 教育課主幹(兼)同係長(市教委) 西村幸夫▽仁保公民館長(併) 仁保出張所長(同館) 長心得(併) 同所長心得 山本忠▽監査委員事務局次長(兼)庶務係長(建築課主幹) 建築指導室長(兼) 藤津英一▽農業委員会事務局次長(兼) 監査委員事務局次長(兼) 庶務係長(水野武彦)

▽併) 小鯖幼稚園長(小鯖小学校) 原祥文▽併) 吉敷幼稚園長(良城小学校) 長富一民▽併) 鑄銭司幼稚園長(鑄銭司小学校) 甲嶋重介▽併) 名田島幼稚園長(名田島小学校) 坊河内武士▽併) 二島幼稚園長(二島小学校) 吉松壽男

▽財政課長補佐(兼)財産係長(企画) 富田信行▽企画課調整係長(兼)富田信行▽企画課主査(総合開発局) 主査(兼)計画係長(兼)小泉貢▽企画課企画調整係長(兼)経営改善室(企画) 浅谷榮彦▽解 全国高校総体事務局総務企画係長(市教委) 岩本紀二▽解 全国高校総体事務局(市教委) 若竹充▽解 全国高校総体事務局(市教委) 寺内保博▽市教委社会教育課主査(名田島公民

緑ゆたかな伸びゆく人間都市

堀市政 この12年

堀市長は、昭和五十年七月以来、市政を担当し、苦しい財政事情の中、「緑ゆたかな伸びゆく人間都市やまぐち」を基調として、たくましく人間的な温もりのある堀やまぐちの実現に向け、さまざまな施策を展開してきました。この間、県庁舎の改築、パークロードやカルチャーパーク、県流通センターの建設など、県都としての都市機能は、二十一世紀に向け着実に進展しています。来たる四月二十日の堀市長退任にあたり、就任以来の主な事業や施策などを振り返ってみたいとします。

都市機能の充実整備

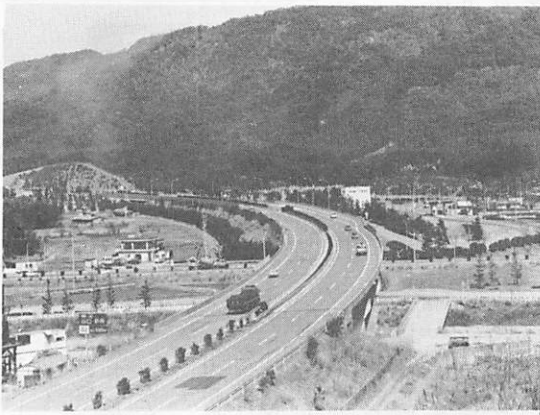
高度情報都市づくり

高度情報化時代を先取りし、昭和六十年三月に山口地区テレビピアのモデル指定を受けました。そして、翌六十一年には全国キャブテンに続き、山口地区

キャブテンもスタートし、高度情報都市として機能が充実してきました。

道路網の整備

昭和五十八年に全面開通した中国縦貫自動車道に続き、山陽自動車道の整備も進んでいます。また、五十七年に開通した国道九号山口バイパスと国道二六二号大内宮野バイパスなど、国道、県道の整備について、国や県等の関係機関に強く働きかけ、広域的な総合交通体系の整備が進みました。



中国縦貫自動車道の山口インター付近

このほか、都市計画街路や生活道路などの整備も積極的に進められました。

企業誘致

昭和五十九年には宇部フェニックステクノポリスの指定を受け、山口テクノパーク(佐山)の建設が進んでいます。また、昭和六十二年の宇宙通信(株)や六十一年のNBC、エヌエフ回路設計ブロック(株)などのニューメディア産業を積極的に誘致し、雇用の拡大を図りました。

昭和五十九年には宇部フェニックステクノポリスの指定を受け、山口テクノパーク(佐山)の建設が進んでいます。また、昭和六十二年の宇宙通信(株)や六十一年のNBC、エヌエフ回路設計ブロック(株)などのニューメディア産業を積極的に誘致し、雇用の拡大を図りました。

生活環境の整備

公共下水道の供用開始



公共下水道通水式 (浄化センター)

市民の快適な生活環境を守るため、都市下水路の整備をするために浄水センターを建設し、昭和五十六年から公共下水道の供用を開始しました。現在、処理区域は三百三十軒です。

また、防災体制の強化と環境保全のため、昭和五十四年に消防署南出張所(名田島)を、五十六年に斎場・浄明苑(嘉川)とし尿処理場・中部環境センター(小郡町)を建設するとともに、六十二年には清掃工場(大内)を増設しました。

そのほか、昭和五十五年に開通したパークロード沿いに建設した亀山公園をはじめ、昭和五十年以来十一か所の都市公園を新設しました。

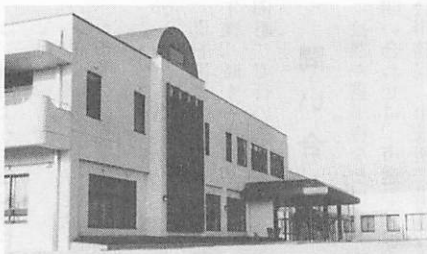
ふしの会館の建設

昭和五十三年にはふしの会館を建設、地区内の道路の改修や住宅の改良など、差別のない明るい社会づくりを進めました。

社会福祉の充実

保健センターの建設

市民の健康づくりの拠点として昭和六十二年に保健センター(白石)を建設するとともに、五十五年に開設した休日夜間急病診療所を移転し、救急医療体制の充実を図りました。



保健センターと休日夜間急病診療所

館主事) 村中庸甫▽市教委学校教育課主査(県教委) 野村英機▽兼文化財センター主査(市教委社会教育課主査) 柴崎文男▽市教委総務課(仁保幼稚園主任) 阿武みち子▽仁保幼稚園主任(大内幼稚園主任) 白金直江▽大内幼稚園主任(鑄銭幼稚園主任) 藤津美智子▽鑄銭幼稚園主任(二島幼稚園主任) 伊藤慶子▽二島幼稚園主任(同幼稚園) 藤田素子▽農業委員会事務局主査(秋穂二島出張所主査) 久弘信恵

消防本部(消防署)

課長・主幹級

▽消防課機械係長(消防課長兼同係長) 清水孝一▽(解)予防課指導係長(予防課長兼同係長) 竹重睦夫▽消防課主幹(兼機械係長) 兼消防署副署長(消防署南出張所) 伊坂悌二

課長補佐・係長級

▽総務課消防団係長(予防課調査係長) 田中喜代一▽消防署南出張所長(予防課危険物係長) 末広昭忠▽予防課危険物係長(消防署小隊長) 村光実▽予防課指導係長(同課主任) 徳田泰弘▽予防課調査係長(消防署副小隊長) 徳本優▽消防署小隊長(消防署副小隊長兼) 中井浪衛▽消防署副小隊長(兼) 分隊長(消防署南出張所分隊長) 岩本重樹▽消防署副小隊長(兼) 分隊長(消防署分隊長) 伊藤

交通局

経営改善計画に基づく機構改革により、従来の二課(総務・営業)六係を一課(運輸)四係としました。

特別職

▽交通局長(山口市) 石川潔

課長・主幹級

▽運輸課長(総務課長) 時重豊▽運輸課主幹(兼) 課長補佐(営業課長補佐) 秋本隆夫▽山口市(交通局次長) 野村裕

課長補佐・係長級

▽運輸課長補佐(総務課長補佐) 兼行良明▽同課経理係長(総務課経理係長) 古林一成▽同課業務管理係長(営業課業務係長) 松田勤▽同課輸送係長(営業課輸送係長) 柴田健次▽同課車両係長(営業課車両係長) 三浦和人

水道局

課長・主幹級

▽(解)総務課主幹(同主幹) 原昌克

山口県中部環境施設組合

部長級

▽事務局長(山口市) 松村昇

課長補佐・係長級

▽財務係長(兼) 施設係長(山口市) 山本和久▽山口市(財務係長兼) 施設係長 長廣浩三

(5)

また、昭和五十五年には障害福祉都市の指定を受け、身体障害者の住みよいまちづくりを進め、五十九年には社会福祉センターしらすぎ会館(大殿)を建設しました。

また、昭和五十四年に老人ホーム福寿園(湯田)を全面改築、五十六年に老人憩の家・潮寿荘(秋穂二島)を建設、六十一年からは老人デイ・サービス事業も始めました。高齢者の生きがい対策として、六十一年にシルバー人材センターを設立、六十二年には長寿社会対策「ウィングエイティやまぐち」がリーディング・プロジェクトの採択を受けるなど、社会的に弱い立場にある人々へ温かい福祉施策を展開してきました。

このほか、昭和六十一年に働く婦人の家(湯田)を建設しました。

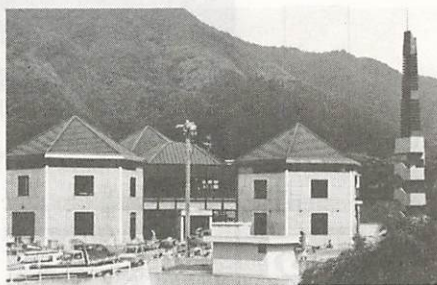
教育文化及び体育の振興



萩往還の歩き初め(六軒茶屋付近)

郷土の歴史を学ぶ場として、昭和五十七年から整備を進めている歴史の道「萩往還」は、現在完成間近かとなっています。

また、昭和五十三年に市民野外活動広場(小鯖)を開設するとともに、市内初のナイター施設(川西中)も整備、五十九年には鑄銭司郷土館と山口ふれあい館(宮野)も建設しました。義務教育施設の整備についても、校舎の増・改築やプールの設置などを年次計画で進めました。



山口ふれあい館

産業の振興

商店街の活性化

農業近代化施設の整備や各種農業の振興を図るとともに、農業生産基盤整備の一環として仁保、名田島、小鯖地区では場整備を進め、昭和六十二年には名田島地区の湛水防除事業も完成しました。また、漁港の改修や林道の整備などを進めました。また、商店街のアーケードや



SL復活一番列車(小郡駅)

カラー舗装、駐車場の整備など商業の振興を図ったほか、昭和五十三年の山口駅舎改築に伴い二階に観光案内所を移転開設、五十四年にSLが営業運転を開始。五十九年には湯田温泉循環分湯方式の工事も完成するなど、観光の開発・整備も図りました。

市制50周年 全国高校総体

昭和五十四年には市制施行五十周年を迎え、盛大に記念式典を挙行するとともに、記念事業として約十億円をかけ、歴史民俗資料館(白石)、市民運動広



市制施行五十周年記念式典(上) 全国高校総体総合開会式(右)



国際交流

昭和五十五年にはスペイン国パンプローナ市と姉妹都市を、六十年には中国済南市と友好都市を締結し、さまざまな分野での交流が始まりました。



済南市との友好都市締結調印式(山口市役所)

山口市公営施設管理公社

部長級

▽事務局長(兼)市民会館長(山口市) 古屋良一▽山口市(兼)事務局長(兼)市民会館長 岩本達夫

課長・主幹級

▽山口市(児童文化センター館長(兼)児童図書館長) 加藤定一

退職者

▽武田博行▽富永吉郎▽杉本利雄▽小田良次▽岡本一郎▽石川潔▽長岡孝好▽村田崇▽森田光則▽蔵増年郎▽常田正昭▽関光壽▽小田照子▽岡村幸江▽榎本ハナ▽山下テル子▽永見妙子▽河田久美子▽岩水淑子▽光永一郎▽河村和子▽椎木るり子▽星出敦子(消防本部)▽坪郷典男▽則近實(交通局)▽西村郁雄▽伊藤光(水道局)▽竹内恒子

新規採用職員

▽福井真典(課税課)▽藤井英樹(同)▽安藤真俊(同)▽谷一郎(同)▽三輪忠之(納税課)▽中村千里(同)▽水津伸久(同)▽山中久美子(電子計算課)▽中川善則(農林水産課)▽徳田禎之(耕地課)▽柴崎芳勝(下水道建設課)▽吉村計広(保護課)▽三井なおみ(保険年金課)▽國森道子(同)▽古賀信幸(市教委社会教育課)▽吉村浩彦(市教委体育課)▽木田太史(消防本部)▽岡田豊昭(同)▽藤原秀二(同)▽吉野健治(山口県中部環境施設組合)▽清水昭夫(同)▽岡田益幸(同)▽岩脇圭太(同)▽安田光男(同)

旧市内の 新任公民館長

▽大殿公民館長・斎藤保之▽白石公民館長・岩本吉顕▽湯田公民館長(兼)児童文化センター館長(兼)児童図書館長・高木東三

(土曜日) 午前八時三十分から 正午まで

福祉課の 係名を変更

市では、四月一日から、厚生部福祉課の係のうち二つの係の名称を、次のように変更しました。お間違いないよう、ご注意ください。

○福祉第一係(老人障害福祉係) ○福祉第二係(児童家庭係)

清掃工場

ごみの搬入は 午後4時30分まで

山口県中部環境施設組合では、四月一日から、清掃工場(大内)への平日のごみ搬入時間を三十分延長しました。これにより、ごみの搬入時間は、次のようになります。

(平日) 午前八時三十分から 午後四時三十分まで

豊かなまちに など5つの重点施策

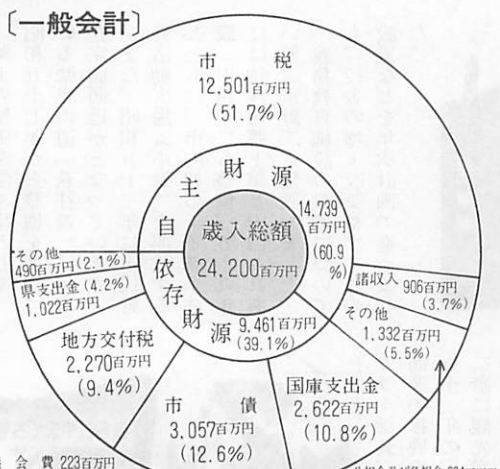


3月市議会定例会の初日、議案説明をする堀市長

62年度予算のあらまし

「都市機能の充実整備」「生活環境の整備」「教育文化及び体育の振興」「社会福祉の充実」「産業の振興」の五つの重点施策で編成した昭和六十二年予算がスタートしました。
一般会計は、総額二百四十二億円（前年度当初予算比四・二%増）。国民健康保険や老人

〔一般会計〕



一般会計 2百42億円
前年比 4.2%の伸び

前年比 4.2%の伸び

保健、下水道事業などの特別会計は百四十七億二千八百余万円（同一〇・一%増）。企業会計のうち、自動車運送事業会計（収益的収入）は八億一千五百余万円、水道事業会計（収益的収入）は十四億四千五百余万円となっています。
行財政運営については、財政基盤の確立を最重点とし、行政改革大綱の推進をはかりながら経費の節減合理化と収入の増加及び確保に努め、中・長期的な展望に立った行政執行に努めます。
五つの重点施策は、いずれも基本構想の理念である「緑ゆたかな伸びゆく人間都市やまぐち」を基調とし、二十一世紀に向けて活力ある快適で豊かな山口市の建設をめざすものです。
以下、そのあらましを紹介いたします。



自主財源の構成比 61%

一般会計予算のうち歳入では市税が百二十五億余万円（構成比五・七%）で、歳入予算のうち一番大きいウエイトを占める。前年度当初予算に比べ四・四%の伸びを見込みました。
このほか、歳入の大きいものは、市債三十億五千余万円（同一二・六%）、国庫支出金二十六億二千余万円（同一〇・八%）、地方交付税二十二億七千万円（同九・四%）、県支出金十億二千余万円（同四・二%）などです。

これらの構成比を前年と比べると、市税は五・一%から五・七%へ、市債は一〇・五%から一二・六%へ、地方交付税は九・二%から九・四%へと増え、国庫支出金は一二・〇%から一〇・八%へと減りました。
なお、市税、使用料などの自主財源は、百四十七億三千九百九十九万円で、歳入総額の六〇・九%となっています。

昭和62年度一般会計歳入歳出予算

〈歳入〉				〈歳出〉			
項目	予算額	前年比	項目	予算額	前年比	(単位 千円：%)	
市税	12,500,850	104.4	議会費	222,829	103.3		
地方譲与税	214,178	100.0	総務費	3,348,320	115.6		
娯楽施設利用税交付金	37,130	100.0	民生費	4,432,418	103.0		
自動車取得税交付金	195,233	100.0	衛生費	2,330,186	77.0		
国有提供施設等所在金	21,202	140.1	労働費	75,249	32.2		
地方交付税	2,270,000	105.6	農林水産業費	1,049,629	92.3		
交通安全対策特別交付金	22,600	120.2	商工費	729,163	103.8		
分担金及び負担金	334,014	105.6	土木費	3,834,880	105.4		
使用料及び手数料	289,866	100.6	消防費	584,078	90.3		
国庫支出金	2,621,990	94.2	教育費	4,133,041	126.9		
県支出金	1,021,969	83.5	災害復旧費	237,409	109.1		
財産収入	219,550	89.3	公債費	2,962,798	103.3		
附入越収	3,037	111.0	諸支出金	210,000	591.5		
繰入金	485,490	107.5	予備費	50,000	100.0		
繰入金	906,290	100.0					
繰入金	3,056,600	125.2					
歳入合計	24,200,000	104.2	歳出合計	24,200,000	104.2		

民生費に44億3千万円

歳出では、民生費が四十四億三千二百余万円（構成比一八・五・九%）、総務費三十三億四千八百余万円（同一三・八%）、公債費二十九億六千二百余万円（同一二・二%）、衛生費二十三億三千余万円（同九・六%）、農林水産業費十億四千九百余万円（四・四%）などが主なもの。歳出を性質別にみると、人件費、公債費、扶助費などの義務

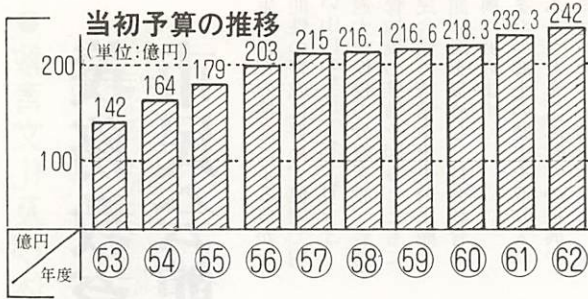
特別会計総額 百47億円

特別会計のうち国民健康保険に四十六億三百余万円（前年比六・九%増）、老人保健に六十九億三千九百余万円（同一二・九%増）を計上したほか、下水道事業に二十四億二千三百余万円（二・〇%減）を計上し、八つの特別会計の総額は百四十七億二千八百余万円（同一〇・一%増）となっています。

なに気ない一服が 4億6,800万円ノ

60年度に山口市に入った「たばこ消費税」は、4億6,800万円です。「たばこ」は、市内で買ひましょ。

(7)



活力ある快適で 「都市機能の充実整備」

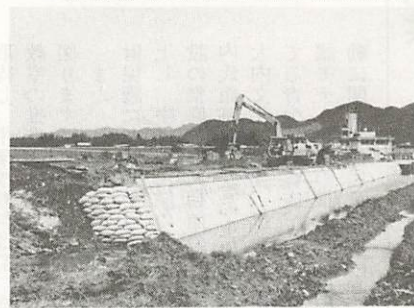
●都市機能の充実整備

高度情報化社会に対応 企業誘致、都市計画街路

県都にふさわしい諸機能の充実に努め、本市のもつ自然的・個性的機能を生かしながら、高次の都市機能の整った中核都市

県都にふさわしい諸機能の充実に努め、本市のもつ自然的・個性的機能を生かしながら、高次の都市機能の整った中核都市

▷幅員十二メートルの都市計画街路・糸米羽坂線



◁長寿社会対策の中核施設・(仮称)山口総合センター用地(名田島)

づくりを進めます。

特に近年の長寿化・高齢化社会への移行対策として、山口市長寿社会対策大綱を策定し、急

◆都市機能の充実整備◆

(単位: 百万円)

- 高度情報化推進対策事業 18
- 高度情報通信拠点施設整備事業、流通VAN基本設計調査負担金、全国ビデオテックス網接続補助金など
- 企画推進費 25
- 山口市長寿社会対策大綱策定委託、地区活性化対策など
- 地域センター建設調査費 158
- 山口総合センター(仮称)建設に係る計画委託、造成工事など
- 企業誘致の推進 143
- テクノポリスの促進など
- 地域開発事業 26
- 都市計画事業の推進 376
- 出張所整備事業 22

●生活環境の整備

快適な居住環境、公園整備 生活道路・下水道の整備

速に迫り来る長寿社会に適切に対応していきます。

高度情報化推進対策では、テレコムプラザ建設基本調査委託五百万円、流通VAN基本設計調査負担金三百十万円など

テクノポリスの促進

体的なシステムの構築を行うとともに高度情報通信の拠点となる施設整備を進めます。

また、テクノポリス構想による山口テクノパークの促進を図るなど企業誘致を推進するとともに都市計画街路を整備し、活力ある都市づくりを進めます。

高度情報化推進対策事業に一千八百余万円を計上し、山口市長寿社会対策大綱策定委託一千九百五十万円を計上したほか、地域センターの造成・進入路整備工事費やセンター建設調査費に一億五千八百余万円、テクノポリスの促進等に一億四千三百余万円を計上しました。

また、地域開発事業や都市計画街路事業等に四億三百余万円を計上しました。

歴史的環境と美しい自然を保全しつつ、市民生活と調和した居住環境の整備を図り、快適で豊かな生活ができるまちづくりに努めます。

生活道路の改良整備、交通安全施設の整備、公共下水道事業の推進・水洗便所の普及指導に努めるとともに、都市下水路の整備、海岸保全、河川改良、自然災害防止事業、消防施設の充実整備、市営住宅の建設等を進めます。

海岸の保全、河川改良

生活道路の整備では、上矢原上東線、中河原町線、御堀平井線などの補助事業に三億七千八百万円、改良舗装や通学路の整備、神郷橋の改良などの単独事業に五億二千八百余万円を計上しました。

公園の整備では、古曾見公園や八坂公園等の整備に一億七千九百余万円を計上し、美濃ヶ浜海岸や由良川など海岸保全、河川改良に一億八千六百余万円を計上しました。

◆新不燃物処分場を調査

清掃関係では、乾電池処理対策費百五十万円、新不燃物処分場調査費百五十万円を新規に計上したほか、生ごみ処理推進対策事業に五百万円、山口県中部環境施設組合負担金に七億九千二百余

◆生活環境の整備◆

(単位: 百万円)

- 生活道路の整備 906
- 交通安全施設整備事業 100
- 都市下水路の整備 185
- 公園の整備 227
- 廃棄物処理等居住環境の整備 808
- じん芥収集車の購入、生ごみ処理対策、県中部環境施設組合負担金等
- 海岸保全、河川改良、自然災害防止事業等 244
- 市営住宅建設事業 64
- 消防施設整備事業 67
- 同和対策事業 199
- 下水道事業特別会計繰出金 928

●教育文化及び体育の振興

義務教育施設の整備拡充
市民会館整備、青少年育成

生涯教育の推進による豊かな人間性の育成に努め、健康で明るい山口の生活文化を育てます。

過大規模校の分離新設、義務教育施設の整備を図るとともに市民会館の整備や中央公民館の三館分離を実施し、社会教育の振興に努めます。

また、郷土の歴史を取り入れたふるさとを学ぶ教育の振興やコミュニティ活動を推進し、連帯意識の高揚を図るとともに、文化財の保存整備、同和教育の推進に努めます。

また、青少年と高齢者の交流をはじめ、地域ぐるみで親しむスポーツの振興等、健康な体と豊かな心をもった人づくりを目指すとともに、体育施設の整備

◆教育文化及び体育の振興◆

(単位：百万円)

- 義務教育施設整備と教育行政 1,288
- 仁保小・大殿小・湯田小・鑄銭司小・二島中の校舎増・改築、大殿小給食室・小鯖小給食室の増・改築、新設中学校の建設用地取得、私学の振興等
- 社会教育の振興と文化財保護 951
- 中央公民館の三館分離施設整備、市民朝会館整備、新井戸端会議モデル事業、田墳墓群整備、大内氏館跡地の買上げ
- 体育の振興 237
- 同和教育の推進

に努めます。

大内氏館跡地の買上げ

義務教育施設整備と教育行政に十二億八千八百余万円を計上



改築が予定される湯田小校舎

し、仁保小学校、大殿小学校、湯田小学校、鑄銭司小学校、大殿小学校給食室、小鯖小学校給食室、二島中学校の増・改築を行うほか、新設中学校の用地を取得し、中学校教科改訂、自然教室の推進、私学の振興などを図ります。

また、社会教育の振興と文化財保護に九億五千余万円を計上し、中央公民館の三館分離施設の整備、市民会館の整備、大内氏館跡・築山跡の土地買上げ、大内文化の研究、豊かな心を育てる青少年の育成、新井戸端会議モデル事業の推進、公民館活動に関する住民意識の調査、洞

●社会福祉の充実

老人福祉、福祉医療対策
保育園の改修、保健衛生

他人の幸せを願う温かい心をはぐくみ、すべての市民が心にとりと安らぎのある健康で豊かな福祉社会の実現に努めます。

きめ細かい配慮を行っていきま

材センターの充実等、高齢化社会に対応した諸施策をはじめ、福祉作業所の充実等社会的に弱い立場にある人びとに対して、

老人福祉対策として、老人クラブの育成など生きがい対策事

春寺山門の修理、歴史の道「萩往還」の整備などを行います。

小鯖小運動場に夜間照明

体育の振興に二千三百余万円を計上し、小鯖小学校の屋外運動場に夜間照明施設を整備するほか、市民運動広場の全天候テニスコートの補修、宮野中学校の屋内運動場の照明工事などを行います。

また、同和教育の推進に七百余万円を計上しました。



市歴史民俗資料館の北側に完成した収蔵庫。収集等の機能充実

青年海外派遣事業
参加青年を募集

●募集人員 二十歳～二十九歳の約七十人(山口県一人)

●青年の船

●訪問国 オーストラリア、ニュージーランド、フィジー、ヴァヌアツ(予定)

●実施時期 来年の一月～三月

●募集人員 二十歳～二十九歳の約二百六十人(山口県三人)

●申し込み いずれも、四月二十五日までに市教委社会教育課(☎22-4111)へ

●問い合わせ 詳しくは、県企画部婦人青少年課青少年係(☎22-3111)へ

●実施時期 九月～十月

名田島の湛水防除事業
竣工記念碑を建立

昭和五十三年度から県営事業として進められていた名田島地区の湛水防除事業が完成し、三月二十四日、関係者百人余りが出席して第一排水機場の敷地で記念碑の除幕が、市農協名田島支所で記念式典が挙行されました。

この事業は、降雨期になると必ずといっていいほど湛水し農作物に被害を受けていた名田島地区の住民が熱望していたもので、導水路の改修と遊水池の浚渫を行うとともに二か所に排水機場を新設。計五台のポンプで満潮時でも毎秒一〇・五五トの排水ができるようになりました。総事業費は十一億七千六百万円。

これにより同地区の干拓五百三十畝が、利用率二〇〇％の完全裏作ができるようになりました。

記念碑は名田島で産出した自然石が使われ、両側には、出稼ぎのない緑の名田島の碑と総合排水対策協議会委員名の碑が建立されています。



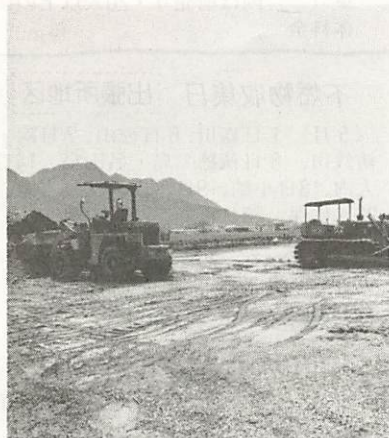
第1排水機場で行われた除幕式

(9)

産業の振興

(単位：百万円)

- 農林水産業の振興 664
 - 農業金融対策、転作促進特別対策、農業構造改善事業、園芸振興事業、土地改良事業、林業振興対策、県事業負担金、森林病害虫防除対策事業(松くい虫)、林道改良事業、小規模治山事業、地域沿岸漁業構造改善事業、山口漁港改修等
- 商工業・観光の振興 631
 - 中小企業金融対策、まつり等助成、観光宣伝事業、恋路公衆便所、循環計量分湯方式補助等



年次計画で進む、仁保・小鯖・名田島のほ場整備(今年度は約39%)

五つの重点施策のほか、国際親善推進費に一千九百九十九万円、選挙費に七千七百九十九万円、山口・小郡地域広域水道企業団負担金に一億六千九百九十九万円、同出資金に九千九百九十九万円、自動車運送事業補助金に二億一千万円などを計上しました。

地域の特性を生かした豊かな農村づくり、活力ある商工業対策、快適で魅力ある観光の振興に努め、雇用の拡大と市民所得の向上を図ります。

農業基盤整備、水田農業確立対策事業、転作促進特別対策事業等による農業経営の近代化、農業生産の安定化に努めるとともに、森林病害虫防除事業等、林業の振興を図り、また、漁港の改修、漁礁の造成など水産業の振興を図ります。

林業の振興、漁港改修、農業振興として、転作促進特別対策事業に六千九百九十九万円、新年度の充実を努め、商工業の育成を図ります。

豊かな農村、活力ある商工業 土地改良、中小企業金融対策

産業の振興

で開催予定の全国ろうあ者体育大会の助成金百万円など、一億六千三百九十九万円を計上しました。

保健センターの開設
労働福祉対策として、シルバー人材センター運営事業に二千二百九十九万円を計上したほか、働く婦人の家運営事業に一千二百九十九万円を計上しました。

社会福祉の充実

(単位：百万円)

- 老人福祉対策 622
 - 生きがい対策事業、在宅福祉対策事業、老人保護対策事業等
- 心身障害者(児)福祉対策 308
 - 自立促進対策事業、在宅福祉対策事業、施設措置対策事業等
- 福祉医療対策 236
 - 障害者(児)福祉手当 40
 - 諸福祉推進事業 104
 - 市社協運営補助、優待乗車証交付等
- 児童・母子福祉対策 551
 - 児童健全育成、保育園運営事業等
- 労働福祉 35
 - 働く婦人の家運営事業、シルバー人材センター運営事業等
- 保健衛生対策 375
 - 保健センター運営事業、地域救急医療対策、老人保健事業、母子保健の推進、予防接種、火葬場管理等
- 国民健康保険特別会計繰出金 100
- 老人保健特別会計繰出金 365

国際親善の推進 広域水道へ負担金

林業振興として、森林病害虫防除対策事業に二千四百九十九万円、小規模治山事業に三百九十九万円を計上し、水産業振興として、山口漁港・相原漁港改修事業に八千九百九十九万円を計上しました。

商工・観光振興として、中小企業金融対策に五億七千九百九十九万円、まつり等助成事業に一千二百九十九万円、観光宣伝事業に一千二百九十九万円を計上しました。

玄游書作展

第五回山口支部玄游書作展(特集一中原中也詩句による)

エフエム山口

「シティインフォーメーション」

市では、毎週二回ラジオで市からのお知らせや催し物、募集などの案内を放送しています。

放送日時 毎週月曜日と金曜日の午前九時二十分から二十五分まで(五分間)

放送ラジオ局 エフエム山口(周波数七九・二MHz)

放送内容 山口市からのお知らせ、行事紹介、各種趣味グループの会員募集など

老人福祉館の木彫クラブ生募集

日時 毎月第二、第四水曜日の午前九時〜十一時三十分

場所 市福祉センター内、老人福祉館

対象者 六十歳以上の人(初心者歓迎)

会費 月額五百円と材料費

申し込み 市福祉センター(☎22-7121)へ

「花泉会」会員募集

練習日時 毎週水曜日午前十時〜正午

場所 宮崎宅(白石一丁目13-11)

会費 月額千五百円

申し込み 白木幹子さん(☎23-3750)へ

テレビ番組

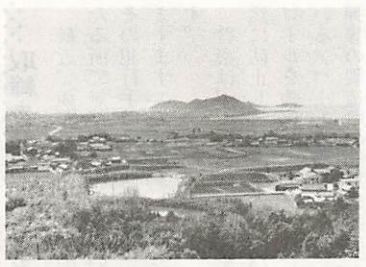
私たちのまち山口

「秋穂二島の風物を訪ねて」

○放映テレビ局 TYSテレビ

○放映日時 4月26日から5月10日までの毎週日曜日の午前11時40分から45分まで(5分間)

○放映内容 八十八ヶ所霊場めぐりや美濃ヶ浜海岸、朝日山など秋穂二島の風物を紹介します。





健康コーナー

子宮がん検診

- 期日・場所 〈4月20日〉市福祉センター内ボランティアセンター〈21日〉市児童文化センター〈23日〉宮野公民館〈24日〉佐山公民館〈27日〉山口市農協嘉川支所〈5月1日〉陶公民館
- 受付時間 午後1時30分～2時
- 対象 30歳以上の市民
- 料金 600円(70歳以上の人および市民税非課税世帯の人は無料)
- 申し込み 山口市保健センター(☎21-2666)へ。申込者多数の場合は、締め切ることがあります。なお、当日の和服をご遠慮ください。

催し物と訪ねらせ



親と子のわらび狩り

- 期日 4月29日(水)雨天決行
- 会場 県秋吉台少年自然の家
- 参加資格 小学生、中学生とその保護者
- 募集人員 200人(定員に達し次第締め切ります)
- 研修内容 ①わらび狩り②野外炊事③野外ゲーム
- 経費 1人550円
- 申込方法 4月15～22日
- 応募方法 希望者は、はがきに住所、児童生徒の氏名、性別、学校名、学年、参加保護者名、自宅の電話番号、利用交通機関(自家用車とバスの別、バスの場合は何時着か)を明記のうえ申し込むこと
- 申し込み 山口県秋吉台少年自然の家(〒754-03美東町大字赤☎08396-2-0581)へ

護国神社大慰霊祭に

市営バス臨時便を運行

4月29日、県護国神社(宮野江良)で開催される春季護国神社大慰霊祭には、次のとおり市営バス臨時便を運行します。参拝される人は、ご利用ください。

- 運行区間 湯田温泉～市民会館前～県庁前～日赤口～祭場
- 運行時刻 〈湯田温泉発〉9:20と10:10 〈市民会館前発〉9:27と10:17 〈西京橋前発〉9:34と10:25

※祭場発は、慰霊祭終了後適時運行します。(雨天の場合は中止)

江戸の日本を伝える シーボルトの絵師

川原慶賀展



市歴史民俗資料館開館6周年

「山口の人の書」特別展

- 期日 4月15日～5月17日(毎週月曜日と祝日の翌日は休館、ただし5月4日は開館)開館時間は、午前9時～午後5時
- 会場 市歴史民俗資料館(春日町)
- 展示内容 山口市で出生した人、山口市に長く住んだ人、山口市に墓がある人など山口に関係のある近世の偉人の遺墨・50点余りを展示。
- 観覧料 一般(高校生以上)100円、小・中学生50円(団体割引もあります)

第5回福祉の市

- 日時 4月29日(水)午前10時～午後3時
- 会場 〈第一会場〉市福祉センター(下堅小路)〈第二会場〉しらすぎ会館(堂の前町)
- 内容 作品の展示即売、三世代交流、点字講習、チャリティバザー、軽食、バンド演奏、バナナのたたき売り、舞踊、人形劇、紙芝居など
- 主催 山口市・山口市社会福祉協議会ほか

「青い鳥郵便はがき」を発売 身体障害者に無料配布

全国の郵便局で、「青い鳥郵便はがき(40円)」が発売されます。このはがきは、身体障害者問題に対する国民の理解と認識を深めるために発行されるもので、満6歳以上の重度の身体障害者(1、2級)には、1人20枚無料配布しています。申し込みは、身体障害者手帳を持って6月1日までに最寄りの郵便局へ

川原慶賀は、江戸時代後期、ヨーロッパ通商の窓口であった長崎出島に出入りを許されていた日本人画家で、オランダ商館長の求めに応じて日本の行事・風俗・地誌から動物・植物・鉱物・道具・器具まで日本におけるあらゆる分野を克明に描写した作品を残しました。今回は、これらの中から250点を展示します。

- 会場 県立美術館
- 会期 5月10日(日)まで(月曜日は休館、ただし5月4日は開館)開館時間は、午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- 入場料 一般700円(600円)高・大生500円(400円)中学生300円(200円)小学生100円
- ※()内は前売り・20人以上の団体料金

不燃物収集日 出張所地区

〈5月〉1日嘉川、6日佐山、7日陶・鑄銭司、8日秋穂二島・名田島、14日大内、18日小鯖、19日平川、22日吉敷、26日仁保、28日宮野、29日大歳



山口の歴史と民俗講座

- 日時 62年5月～63年2月までの第2金曜日午後1時30分～4時
- 場所 山口市歴史民俗資料館
- 内容 山口市を中心とする歴史と民俗について
- 講師 市歴史民俗資料館職員その他
- 人員 35人(申込者多数の場合、先着順)
- 受講料 無料(資料代実費)
- 申し込み 4月28日までに、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、市歴史民俗資料館(〒753春日町5-1☎24-7001)へ

働く人々の職場体験記

- 募集テーマ ①職場と私 ②技能に生きる(いずれかひとつ)
- 応募要領 400字詰原稿用紙4～5枚で、別紙に住所、氏名、年齢、職業(職業訓練生はその旨)を明記すること
- 応募資格 職場で働く人および職業訓練を受けている人
- 募集期間 5月6日(消印有効)まで
- 原稿送付先 日本労働協会「働く人びとの職場体験記」係(〒105東京都港区芝公園1-7-6中退金ビル内☎03-436-0151)へ

極左暴力集団の 取締まりにご協力を

最近、極左暴力団は、全国いたる所で無差別に犯行を行い、その犯行手口は、悪質巧妙化し、ますますエスカレートしています。

警察は、このような事件を未然に防止し、検挙するためパトロールを強化し、アジトにしているアパートの聞き込みや、爆弾等の製造所の発見に努めています。市民の皆さんのご協力をお願いします。

市民手話講習会

受講生募集

- 期間 五月八日(七月二十四日)(毎週金曜日全十二回)午後六時～八時
- 場所 しらすぎ会館
- 募集人員 四十人
- 受講料 無料
- 申し込み 問い合わせ 五月一日までに、はがきに住所、氏名、年齢、職業を明記してしらすぎ会館(〒753堂の前町一五☎22-3666)へ。電話受付も可

博物館企画展

「不思議博物館」

- 期間 四月二十八日～五月二十四日(休館日は五月十一日と十八日)午前九時～午後四時三十分(入館は四時まで)
- 会場 県立山口博物館
- 観覧料 大人五百円(四百円)高校・大学生三百円(二百円)小・中学生二百円(百円)
- ※()内は団体料金